

被ばく線量と人体との影響

さて人体に、何Sv受けるとどのような影響が生じるのでしょうか。今の福島第一原発事故による放射能汚染で不安を抱える地域の住民の方々が一番の関心事がここにあります。マスコミからも日々、何 μ Sv（マイクロシーベルト）と伝えられます。しかしこれまでの日常生活でなじまない単位で、いろいろ数値を示されてもそれをどのように理解していけばいいのか、なかなか難しいと思います。

放射線は、人体に影響を与えます。そしてその被ばく線量が多いほど人体が受ける影響が大きいのは当然です。しかしどれだけの放射線量を浴びれば人体にどのような影響が生じるかについては、すべてははっきり分かっている訳ではありません。実はこれまでに人類が経験してきたことを参考にして、いろいろと説明しているのです。そのデータを与えてくれたのは、先ず広島・長崎の原爆の被爆者です。そして核実験で被害を受けた現場の従事者や周辺住民の被ばく者です。またチェルノブイリなどの原発事故の経験も参考になりました。昨年のIPPNW（核戦争防止国際医師会議）のバーゼル大会（スイス）で、ドイツのある原発周辺の地域では、原発からの距離と小児がんの発生率には相関があるという報告がありました。こうしたいろいろな疫学的な調査のデータなども参考にして、人体の影響を説明しているのです。

